

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析

河内長野市立天見小学校

国語

【学力の概況】

正答率について

- ・全体は、大阪（63）全国（64.7）ともに非常に大きく上まわっている。
- ・観点別でも、全領域、全国平均を非常に大きく上回っている
- ・問題形式でも、全形式、全国平均を非常に大きく上回っている。

特に良かった点

全14問中11問で正答率100%

特に課題が見られた点

記述式

目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する問題では、条件を一つ書いていないなどのミスがあった。

・目的や意図に応じて理由を明確にしながら自分の考えを書く問題では、理由を書いていないという間違いであった。

全員不正解の問題（知識・選択）

- ・文の中における修飾と被修飾との関係を捉える問題

国語の学習を進めるにあたって

算数科でも同様であるが、理由などを説明するとき、授業のなかで説明不足を指導しきれないことが考えられる。低学年からの指導の積み重ねが重要である。縦のつながりを考えて、指導方法の改善を図る必要がある。

文法については、正答率0ということは、指導が十分でない事の表れである。

指導内容は、もろさず丁寧に指導することはもちろんであるが、適時「確かめる」「使う」場面を設定し、定着させていく必要がある。特に短時間の扱いの単元は、文法につながるものが多く、手厚く教えていきたい。

【学力の概況】

正答率について

- ・全体は、大阪（70）全国（70.2）をわずかに下回る。
- ・領域別では、データの活用は、大阪（75.7）全国（76.0）と大きく上回っているが、数と計算は、大阪（62.7）全国（63.1）と大きく下回っている。また、図形も、大阪（62.7）全国（63.1）と下回っている。
- ・観点別では、知識・技能が全国と同じ（大阪73.6）であったが、思考・判断・表現は、大阪（64.6）全国（65.1）を下回る。
- ・問題形式別では、選択式は、大阪府（75.9）、全国（76.0）を上回っているが、記述式は、大阪（52.7）全国（53.0）ともに下回っている。

特に良かった点

- ・データの活用の中でも知識・技能はよくできていた。
- ・道のりと時間の関係
- ・図形の面積の量の保存・加法性についての理解
- ・除法の結果を日常場面に当てはめて考え余りを適切に処理できている。

特に課題が見られた点

数と計算領域

- ・8人に4リットルのジュースを分ける
 $8 \div 4$ と回答

★式の意味理解が不十分

- ・30mを1としたときに12mが0.4にあたるわけをかく

★3mが0.1だから、12mは0.4にあると回答し、説明が不足している

算数の学習を進めるにあたって

数と計算。面積

- ・求積に限らず、公式ややり方を教え込むのではなく、なぜそうなるのかの理解が不足していることがうかがわれる。公式を導く活動を充実し、適時振り返る事で定着を図る。

記述式問題の正答率の低さ

- ・記述式問題の正答率が著しく低い

特に、数と計算領域の間では、考え方はわかってはいるが、数学的に説明できていない。

普通の授業でも、「3mが0.1だから、12mは0.4」と答えているのを正解としている可能性が考えられる。低学年から、正確に回答させていくことが重要である。

【学力の概況】

【

正答率について

- ・本校は、大阪（65.1）を非常に大きく上まわり府下トップクラスである。
- ・観点別 全ての観点で府平均を非常に大きく上回っている
- ・問題をとらえる 全ての区分で府平均を非常に大きく上回っている
- ・伝える 全ての区分で府平均を非常に大きく上回っている

特に良かった点

全10問中8問で府平均正答率を上回っている

特に課題が見られた点

2（1）の問い 本校10.5% 府12.5%

資料で与えられている2つの情報を適切に読み取る問

3（1）の問い 本校42.1% 府48.3%

示された内容を関連付けて正しく捉え、自分の考えを持ち伝える問

算数の学習を進めるにあたって

2問とも、短い文章や会話文等に示された内容を関連付けて正しく捉えられるかを問われた問題である。

1（1）の、図や表に示された内容を関連付けて正しく捉えられるかを問われた問では、本校63.2% 府41.2%であるので、図表の情報を関連づけてとらえることはできるが、情報が文章になると、正しく読み取れていないことがうかがわれる。

文章をどれだけ内容理解できるか、日ごろの国語以外でも読書の必要性を感じる。

児童質問紙から

大規模校では、それぞれの質問と、教科の調査結果を関連付けて分析していますが、本校では、児童数が少ないため、良い傾向があったものと、今後学校と地域、家庭が連携して取り組むべきものをあげてみました。

よい傾向がみられたもの

- ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか。
- 学校のきまりを守っていますか。
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- 読書は好きですか。
- 5年生までに受けた授業では、課題に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた。
- 国語の勉強は好きですか。
- 算数の勉強は大切だと思いますか。
- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。

課題が見られたもの

- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。
- 新聞を読んでいますか。
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
- 解答時間は十分でしたか。（国語）

まとめ・・・全体を通して

本校の児童は、国語は全国、大阪府の平均正答率よりも下回っており、算数では大阪府と同じ平均正答率で、全国よりもやや下回っていました。国語は、記述式、国語への関心意欲態度が、大阪と全国の平均を上回る結果となっています。算数では、数学的な考え方、選択式が大阪と全国の平均を上回る結果となっています。一方で、国語と算数ともに書く問題の正答率が低いのと、算数では量と測定、数と計算などの領域に課題がありました。

学校としては基礎的な学力の定着を、より一層図っていくとともに自分の考えを文章で表し、表現する活動を続けて取り組んでまいります。

学校だけでなく、地域の交流やご家庭での興味・関心を深められる自学自習をより一層深めていってほしいと考えています。

学校が重点的に取り組んでいくこと

- 学習の土台となる知識や計算力の定着は、今後もしっかりと身に付けさせます。
- 生活作文を通して、書く力を高めていきます。
- 多様な問題に取り組ませ、応用力もつけていきます。

児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

- 読書は新たな世界の発見

小説、図鑑、伝記、時事問題、趣味など色々な分野の本を読むようにしましょう。本には自分も大人も知らないことがたくさん書いています。読み終わったときに見える世界が変わるような本に、出会いに行きましょう。そしてそのことを誰かに伝えましょう！

- 新聞やニュースを見て自分の考えを持つ

新聞は、見出しだけをさらっと読むのも一つの読み方です。気になる記事は詳しく読みましょう。テレビやインターネットのニュースでもいいので、その記事や出来事について、自分の考えを持つクセをつけましょう。そしてその考えを誰かに伝えよう！

- 家庭学習は自分の力を伸ばすチャンスタイム

家庭学習は、自分の力を伸ばすチャンスタイムです。自分のペースで、自分の好きなこと、苦手なことを自分のやり方で勉強できる貴重な時間です。こっそりしてもいいし、だれかに伝えてもいいです。

保護者のみなさまに協力してほしいこと

- お子様の「なんで？」にできるだけ寄り添ってあげてください。わからないことや、答えられないことは、調べる方法を教えたり、一緒に考えたりしてあげてください。
- 学習への意欲は、子どもの自己肯定感と大きな関係があります。友だちや兄弟姉妹と比較することは自己肯定感を傷つける場合があります、意欲を低下させることがあります。子ども個人の成長を認め、子どもそれぞれの課題を意識させることで、学習意欲が高まります。
- 学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にしていただきますようよろしくお願いいたします。